

都道府県名	静岡県
-------	-----

学校の概要 (平成15年4月現在)

学校名	磐田市立南部中学校					
学 年	1 年	2 年	3 年	特殊学級	計	教員数
学級数	4	4	5	1	14	28
生徒数	145	129	166	2	442	

研究の概要

1 研究主題

主体的に生き生きと学習する生徒の育成 ～一人ひとりがのびる単元づくり～
--

2 研究内容与方法

(1)実施学年・教科

<p>研究は全学年全教科で実施している。 少人数指導は英語や数学を中心に行っている。 ・英語：全学年（コミュニケーション能力の育成には少人数が効果的だから） ・数学：全学年（生徒の理解度に差が出やすい教科であるため）</p>

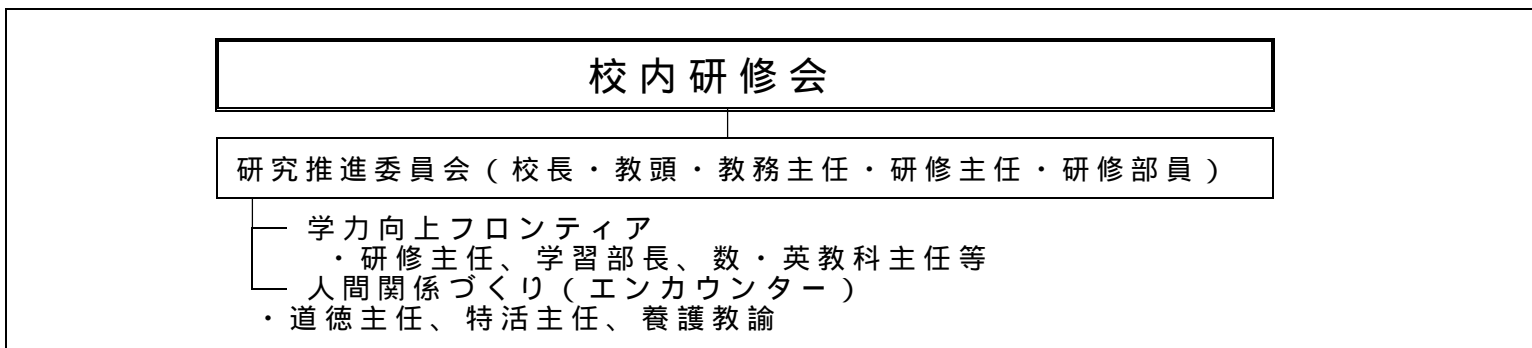
(2)年次ごとの計画

平成14年度	<p>テーマ 主体的に生き生きと学習する生徒の育成 ～一人ひとりがのびる評価の工夫～</p> <p>研究の見通し（仮説） 少人数学習や自己評価カードを利用して、一人ひとりに対してきめ細かく指導していけば、生徒の学力は確実に定着し、主体的に学習する生徒を育成することができるだろう。</p> <p>研究内容・方法 ・発展的な学習や補充的な学習など個に応じた指導のための教材開発 ・教科における個に応じた補充的、発展的な教材の作成 ・個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善 ・少人数、TT等の指導法工夫改善や外部講師との授業実践 ・生徒の学力の評価を生かした指導の改善 ・自己評価能力の育成</p>
--------	---

平成15年度	<p>テーマ 主体的に生き生きと学習する生徒の育成 ～一人一人がのびる単元づくり～</p> <p>研究の見通し 私たちがつけたい力をおさえた上で、生徒の自己評価能力を育て、仲間と学び合う場を意識した単元構成を行っていけば、一人一人がのび、主体的に生き生きと学習する生徒が育つであろう。</p> <p>研究内容・方法 ・発展的な学習や補充的な学習など個に応じた指導のための教材開発 ・教科における個に応じた補充的、発展的な教材の作成 ・個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善 ・外部講師との授業実践、生徒の興味・関心別の指導方法の工夫 ・生徒の学力の評価を生かした指導の改善 ・自己評価能力の育成と自己評価カードの工夫</p>
--------	--

平成16年度	<p>テーマ 主体的に生き生きと学習する生徒の育成 ～一人一人がのびる単元づくり～</p> <p>研究の見通し 私たちがつけたい力をおさえた上で、単元の中に生徒の主体的に学ぶ場面や仲間と学び合う場を構成していけば、生徒一人一人はのび、主体的に生き生きと学習する生徒が育つであろう。</p> <p>研究内容・方法 （発展的な学習や補充的な学習など個に応じた指導のための教材開発） ・3年間積み重ねてきた、教科における個に応じた補充的、発展的な教材例を精選する。 （個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善） ・英語・数学を中心とした学習態度や興味・関心別の指導方法を確立する。 ・外部講師との授業実践で、個に応じた授業を確立する。 ・単元構想を充実させ、生徒の主体性を引き出す授業を造りあげる。 （生徒の学力の評価を生かした指導の改善） ・自己評価カードを充実させ、生徒の自己評価能力のさらなる育成を目指すと共にその結果をもとに授業単元の見直し検討を図る流れを確立する。</p>
--------	---

(3)研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1 研究成果

(1)魅力があり、一人一人がのびる単元づくりを追究していった結果、各教科に興味・関心を持つ人、表現力のある人などの私たちが求める生徒像のよい表れが多く出てきたので、確かな学力の定着につながってきている。

【授業が楽しく充実していると答えた生徒の声】

「主体的に活動できるのがいい」「友達と協力したり、交流したりすることが楽しい」「創る、歌う、描く、動くことが好き」「先生の授業の進め方がよい」「自分の考えや意見が生かされることがうれしい」「先生が2人いると楽しい」「努力すればどんどん解けるし、楽しくなるから」等

また、生徒の自己評価カードを通して、一人一人の学習状態をつかむことができ、生徒の支援や単元の振り返りに役だった。

(2)少人数学習の英語では、TT及び少人数学習を実施することでコミュニケーション能力が高まり、TTやコミュニケーションの授業を楽しみにしている生徒が増えた。数学では、TT及び少人数学習（習熟度別）を行った結果、充実していて楽しいと感じる生徒の割合が昨年と比べて1.5倍に増えるなど、指導方法を工夫したり、きめ細かに指導をしてきた成果が出てきた。

【アンケートの結果】

少人数やTT授業はプラスになる（83%）	ならない （17%）
----------------------	---------------

【少人数やTTの授業についての生徒の声】

「質問を聞きやすい」「先生が2人いると楽しい」「一人一人をしっかりと見てくれるから」等

2 今後の課題

単元づくりや自己評価カードの成果は出てきた。今後さらに発展させていくには、各教科の壁を取り払うなどの新しい単元づくり体制を築いていく必要がある。
この2年間、教師主導で生徒をのばす方法を考えてきたが、3年目は生徒が高まろうとする力を利用していききたいと思う。

学力把握のための学校の取組について

- ・磐南5市町村学習内容定着度調査、県学力診断調査の結果分析
- ・自己評価カードを見て、各単元の授業結果やテスト等のデータを分析する

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・15年度研究発表会を実施した。
日 時：平成15年10月17日（金）午前
場 所：磐田市立南部中学校
対 象：主に磐周地区の小中学校
- ・研究内容と成果を掲載したリーフレットを作成し、磐周地区の小中学校に配布した。全体会では研究内容を説明し、パネルディスカッション（テーマ：魅力ある授業）で参加者との意見交流をした。HPについては作成中。
- ・研究会参加者からは、「たいへん刺激を受け、授業を根本から見直す必要性を感じた」、「これからのTT授業の進め方の参考になった」、「自己評価カードを使ってみようと思った」、「生徒が生き生きしていた」、「データの部分をもっと知りたかった」などのご意見をたくさんいただいた。

【磐田市立南部中学校】

- ・ホームページアドレス
<http://www.city.iwata.shizuoka.jp/school/nanbu/>
- ・メールアドレス
nannbu@sa.city.iwata.shizuoka.jp

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

【新規校・継続校】	15年度からの新規校	14年度からの継続校		
【学校規模】	3学級以下 7～9学級 13～15学級	4～6学級 10～12学級 16学級以上		
【指導体制】	少人数指導 その他	T・Tによる指導		
【研究教科】	国語 外国語 保健体育	社会 音楽 その他	数学 美術	理科 技術・家庭
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】		有		無